昭和十三年七月

我國戰時經濟狀勢

警保局經濟保安課

アジア歴史資料センター

我國戰時經濟現況

戰時經濟トハ戰爭目的遂行ト言フ經濟以外ノ目的ノ爲ニ國ノ全經濟力ヲ集中スル經濟體制ヲ言ヒマス。其レハ近代戰ガ經濟戰デアリ資材戰ヲ特徴トスル所ヨリ產レ出タモノデアリマス。我國モ支那事變ノ發生ニヨリ始メテ完全ニ戰時經濟體制ノ段階ニ入ツタノデアリマス。

而シテ我國戰時經濟政策ノ根本方針ハ當面ノ戰爭ノ遂行ニ必要ナ諸般ノ物資ヲ充足シ且將來ニ備フル國防力ヲ強化スル爲日滿支ヲ一體トスル戰時經濟體制ノ整備ヲ期スルニアルノデアリマス。

事變ノ發生ノ當初政府ハ先ヅ資金ノ方面ニ於テ國家目的ニ動員スルベク、一方興業債券發行限度ノ擴張日本銀行保證準備ノ擴張及增資ニツイテノ商法ノ例外ヲ認メル等ノ方法ニヨツテ資金ヲ豐富ニシ獲得ヲ容易ニシ、他方其ノ資金ヲ軍需資材ノ生產ニ集中シ、不要不急事業ニ向カナイヤウニスルタメ臨時資金調整法ヲ制定シタノデアリ

アジア歴史資料センター

マス。
併シ資金モ重要デアリマスガ物資ニ付テハ戰爭ハ其ノ偉大ナル消費者デアリ、カヽル軍需ガ必要ニ於テ絶對的デアリ量ニ於テ絶對的デアルタメ、「物」ガ非常ニ重要視サレ所謂「物」ノ經濟ガ現出スルニ至ツタノデアリマス。然ルニ我國ハ軍需資材ノ原料ガ豐富デナク、之ガ開發增產代用品ノ使用又ハ民需使用ノ制限ニヨツテ軍需ニ集中ヲ圖ツテ居マスガ、一方不足ハ外國カラノ輸入ニ俟タナケレバナラヌノデアリマス。然ルニ輸入資力ニ限度ガアルタメ軍需資材ヲ輸入スル爲ニハ必然ニ民需材ヲ輸入禁止又ハ制限セネバナラヌノデアリマス。輸出入品等臨時措置ニ關スル法律ハ第一條ニ此ヲ規定シ、更ニ輸入ヲ制限シタ物資ニツキ國内ノ需給關係ヲ調整スル必要ガアルノデ第二條デ當該物品又ハ之ヲ原料トスル製品ノ配給讓渡使用又ハ消費ニ關シ必要ナ命令ヲ爲スコトヲ得ルコトヲ定メテキマス。
又我國ノ工業ハ最近重工業ノ急速ナ發達ヲ見マシタガ主ニ輕工業デ

絹等デ見マスヤウナ輸出工業デアツタノデアリマス。卽チ生糸ヲ除イテハスベテ原料材ヲ外國カラ購入シ、製造輸出スルト言フ特殊性ヲ帶有シテキタノデアリマス。然シ戰時ニオキマシテハ夫ガ民需品デアリ從ツテ外國カラ仰グ原料ハ著シク制限サレネバナラナイト同時ニ、他面輸入資力ヲ增大スルタメ大ニ輸出ヲ促進セネバナラズ、此ノ二ツノ相異ツタ要請ノ爲ニ非常ナ困難ナ問題ガ存在スルノデアリマス。我國戰時經濟ノ惱ハ一ニ此ノ點ニアルト言ツテモ差支ヘナイト思ヒマス。過半ノ物資動員計畫ノ改訂モ一ニ豫期ニ反シタ輸出不振ニ基クモノデアリマス。卽チ一月十八日閣議決定ニヨリマシタ重要物資需給計畫ハ年初以來輸出ノ實績ガ連旬極度ノ不振ヲ示シ、國際收支ノ見透シ著シク困難トナリ又戰局ノ擴大ニ伴フ軍需ノ增加ニ因ツテ左ノ樣ナ計畫ノ修正ヲ行ツタノデアリマス。
卽チ
一、爲替相場ノ堅持、軍需資材ノ供給確保、輸出振興及ビ國民生

活維持ノタメ現在以上ノ物價騰貴ヲ抑制スルニ必要ナル措置ヲ講ズルト共ニ基準價格又ハ公定價格ノ設定等ノ外消費節約及ビ配給統制ヲ併セ強化シ物價ノ引下ゲヲ行フコト

二、一般物資ニツキ極力消費節約ヲ圖ルコト、特ニ輸入物資ニツイテハ必要ニ應ジ使用制限乃至禁止、代用品使用強制等ノ方法ニヨリ國内不急用途ニ對スル物資ノ消費節約ヲ徹底強化スルコト

三、輸出增進ノタメ綜合計畫ノ下ニ之ガ一般的促進策ヲ強化スル外

(イ) 製品ノ輸出トソノ原料、材料ノ輸入トヲリンクセシムル等ノ方法ニヨリ輸出用原料材料ノ輸入ヲ確保スルコト

(ロ) 輸入原料、材料ニツキコレヲ國内消費用ト輸出用トヲ區別シ輸出用原料、材料ノ國内消費轉用ヲ徹底的ニ防止スルコト

四、重要物資ニツキ輸出及配給ノ適正圓滑ヲ圖ルタメ組合制度ソ

31

ノ他ノ機構ヲ完備スルコト

五、貯蓄ノ普及徹底ヲ圖ルコト

六、官民一體、簡素ナル非常時國民生活様式ノ確立ニ努ムルコト

七、重要物資ノ增産殊ニ鑛産ノ增加ニツキ徹底的措置ヲ講ズルコト

八、軍需工業能率增進ノタメ交代制ノ採用及ビ勞務者ノ急速充足ニツキ必要ナル措置ヲ講ズルコト

九、廢品蒐集ノタメ從來ノ業者ノ外各種團體ノ協力ヲ求メソノ組織化ヲ圖ルコト

十、轉業及ビ之ニ伴フ失業者ノ救濟ノタメ必要ナル對策ヲ講ズルコト

附帶事項

國内需要使用制限品目

水牛、アルミニユーム、石綿、棉花、羊毛、パルプ、紙、麻類、皮革、鋼材、銑鐵、金、白金、銅、黄銅、亞鉛、鉛、錫、

アジア歴史資料センター

ニッケル、アンチモン、木材、重油、揮發油、生ゴム、タンニン材料、工業鹽、ベンゾール、トロオール、石炭酸、硝酸、曹達、加里燐礦石

以上ノ如キ現下ノ經濟情勢ニ鑑ミマス時ハ緊急ヲ要スルモノハ輸出振興物資ノ需給調整及物價調整ノ二點デアリマス、先ヅ政府ハ爲替管理法ヲ改正強化シ（最初ハ千圓後ニ百圓許可）爲替統制ヲ行ヒマスコトニヨツテ國際收支ノ維持ヲ圖リマシタガ亦輸出入品等臨時措置ニ關スル法律ヲ制定シ臨時輸出入許可規則ニテ品目ヲ定メ輸入ヲ阻止シマシタケレドモ前述ノ樣ニ輸出ノ振興ハ實ニ戰時經濟ニ於テ喫緊且重大ナ問題デアリマス。之レガ狀態如何ガ經濟上戰爭ヲ完全ニ遂行シ得ルヤ否ヤヲ左右スルト言ヒマシテモ過言デハアリマセヌ。然ルニ本年ノ貿易狀況ヲ見マスルニ此ノ五月迄ノ輸出額ハ十億六千八百萬圓デアリ、之ヲ前年ニ比ベマスト一割八分減少ヲ來シテヰルノデアリマス。而シテ右ノ輸出額ハ所謂圓ブロツク卽チ關東州、滿洲國及北支中支向ノ輸出額ヲ包含シテ居リ（之レ

ハ前年ヨリ增加ヲ見テヰルノデアリマス）之ヲ除外シマスト眞ノ輸出額ハ約五億八千三百萬圓デ前年ニ對シマス減少率ハ實ニ三割五分トナリ寒心ニ耐ヘナイ次第ナノデアリマス。斯樣ナ輸出不振ノ原因トシマシテハ輸入制限ニヨリマス原料品ノ手當難、海外ニ比較シマシテ國內ノ物價割高ニヨリマスコスト高、國內ノ物價高ニ伴フ輸出向品ノ國內流入、海外ノ不況、對日感情ノ悪化等ガ擧ゲラレルノデアリマスガ、之ガ是正振興ノ方策トシマシテハ商工省ハ輸入手續ノ行政技術上ノ不圓滑ノ憾ミ多カツタノデ大藏省ノ爲替事務ノ掌課ヲ商工省內ヘ移轉シマスコトニヨツテ爲替許可事務ト輸入許可事務トノ緊密ナ連絡ヲ圖リマシタガ、更ニ之ヲ一元化シ單一許可制度ノ採用ヲ考究中デアリマス。又製品ノ輸出ト其ノ原料ノ輸入トヲ緊密ニ連繫セシメル商品別ノリンク制ヲ綿製品、羊毛製品、人絹ニツキマシテ採用ヲシ又ハ雜貨等ニ付テ輸出金額ノ範圍內ニ於テ當該輸出品ノ原料タルト否トヲ問ハズ各種ノ物資ノ輸入ヲ爲シ得ル所謂綜合的リンク制ヲ考慮中デアリ之等ニアタリマシテハ個人ヲ單位トスル個人リンク制ヲ取ツテ居ルノデアリマス。又保稅工場制度、戾稅制度ノ機能ヲ擴充シマスト共ニ原料ノ輸入カラ製品ノ輸出ニ至ル過程ヲ監視スル爲ノ特殊工場制度ヲ考究中デアリマスケレドモ、綿等ニツイテ生ジタ國內ノ商品ノ價格高ニヨリマス輸出向製品ノ國內流入ハ絕

アジア歴史資料センター

對ニ阻止シナケレバナラナイノデアリマス。此ノ點ニ付キマシテハ商工省ハ輸出向品ノ國内流入ニ付テハ業者ノ自主的措置ニ任ジテ居リマシタガ、統制ヲ受ケル業者ノ間ノ統制協定等デハ遵守サレヤウハヅハナク滔々トシテ流用ヲ見ルニ至ツタノデ由ツテ六月卅日ノ規則ニテ法律上流入ヲ禁止シタノデアリマス。綿製品ノ輸出ハ我國貿易ノ首位ヲ占メ、而モ戰時經濟ニ於テノ輸出ガ戰爭遂行上重要デアルニ鑑ミマスレバ國内流入ハ絶對ニ阻止シナケレバナラヌノデアリマス

（註）臨時措置法第一條　政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ物品ヲ指定シ輸出又ハ輸入ノ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得。
第四條第一條違反ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス。
因ミニ國家總動員法ハ目下第十條ノミガ軍需工業動員法ニ代ツテ施行サレテキマスガ、
第九條　政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ、勅令ノ定ムル所ニ依リ、輸出若ハ輸入ノ制限若ハ禁止ヲ爲シ、輸出若ハ輸入ヲ命ジ、輸出税若ハ輸入税ヲ課シ又ハ輸出税若ハ輸入税ヲ増課若ハ減免スルコトヲ得
第三十三條ニテ第九條違反ハ、三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金」

次ニ物資ノ需給調整方策ニ付テハ軍需ニ資材ヲ集中スルヲ要シマス爲物資ノ供給ノ不足ヲ來シ、之ニハ一面生産力ノ擴充ヲ極力促進スルノハ固ヨリ代用品ノ研究使用ノ奬勵、重要物資ノ廢品回收ヲ圖ルト共ニ他面民間側ノ消費ヲ制限シ配給ヲ統制スルノ必要ガアルノデアリマス。最近國際收支ノ見透ガ決シテ樂觀ヲ許サズ、而カモ一方ニ於テ戰局ノ進展ニ伴ヒテ軍需ガ增大シツツアル爲、政府ハ可及的ニ軍需民需ヲ調整致サナケレバナラヌニシテモ國内生産力輸入力ノ關係カラ民需ノ輸入調整、消費統制ヲ極力强化セネバナラヌコトニナツタノデアリマス。事變ノ勃發以來産業界ニ急激ナ衝擊ヲ與ヘ困亂ヲ來スマイト云フ考慮ト統制機構ノ整備ガ間ニ合ハナカツタト言フ樣ナ關係カラ大體ニ於テハ民間當業者ノ自主的統制方法ヲ主體トシテ政府ハ之ニ指導監督ヲ加ヘルト言フ方法ヲ執リ來ツタノデアリマス。然シ此ノ自主的統制ハ統制ノ法的意義ニ疑問モ存シ其ノ統制違反ニ對スル處罰ハ當初カラ法的疑義ガ差挾マレ、統制ヲ紊ス者ニ對スル法的制裁ヲ缺クコトニヨリ實行ガ行ハレズ弊害ガ續出シマシ

タ。爲ニ時局ノ進展ニ伴ヒ國內ノ需給ヲ計畫的ニ調整ノ必要ノ加重セラレルニヨツテ法律的發動ニ依ル政治機構ノ整備及物資ノ使用制限ニ關スル對策ヲ强行ノ必要ガ生ジマシタ。自主的統制ヨリ國家的統制ヘ、自治的統制ヨリ法的統制ニ移行シタノデアリマス。卽チ鐵鋼銅其ノ他ノ非鐵金屬、石油、石炭、棉花、羊毛、麻、皮革、ゴム木材、重要化學藥品、パルプ、紙等ノ重要物資ノ需給調整ニ付テハ國內ニ於ケル使用制限ヲ强化スルト共ニ（六月二十三日物資動員計畫改訂附帶事項中ノ國內需要使用制限品目三十二種）、此等ノ物資ヲ軍需用生產力擴充用等時局ニ緊要ナ用途ニ向ケシムル樣配給統制ヲ一段ト强化スルコトニナツタノデアリマス。

（註）

「輸入品等臨時措置法第二條

政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ輸入ノ制限其ノ他ノ事由ニ因リ需給關係ノ調整

ヲ必要トスル物品ニ付左ノ措置ヲ爲スコトヲ得

一、命令ノ定ムル所ニ依リ當該物品ノ原料トスル製品ノ製造ニ關シ必要ナル事項ヲ命シ又ハ制限ヲ爲スコト

二、當該物品又ハ之ヲ原料トスル製品ノ配給讓渡使用又ハ消費ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコト

第三條　政府ハ第一條ノ制限若ハ禁止又ハ前條ノ命令若ハ處分ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢査ヲ爲スコトヲ得（六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金）

第五條　第二條ノ規定ニ依ル命令若ハ處分又ハ其ノ命令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

因ミニ未ダ施行サレテ居リマセヌガ國家總動員法ハ

第八條　政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ、總動員物資ノ生產修理配給讓渡其ノ他ノ處分使用消費所持及移動ニ關シ必要ナ命令ヲ爲スコトヲ得

アジア歴史資料センター

之ガ違反ハ第三十三條三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金

次ギニ物價問題ニ付テ見マスルニ物價問題ハ軍事豫算ノ遂行、公債ノ消化、爲替相場ノ維持、輸出ノ増進、國民生活ノ安定等ト極メテ看過ヲ許サレナイ問題デアリマス。物價抑制ハ實ニ經濟運行ノ要缺ト申シテモ敢テ過言デハナク、又今日内政問題ノ核心ヲナスト言ッテ妨ゲナイノデアリマス。我國ニ於ケル物價ハ一昨年ノ秋カラ昨年ノ春ヘカケテハ原料材ヲ中心ニ騰貴シテキマシタガ、事變發生以來ハ原料材バカリデナク生活必需品ニ波及シ、殊ニコノ生活必需品ノ騰勢著シク而モ世界物價ハ寧ロ低落ノ傾向ノアル所ニ注意ヲ拂フ必要ガアルノデアリマス。

物價問題ハ通貨ノ側カラ來ルモ現今ノ實情ハ物資ノ需給ノ不均衡即チ供給ノ不足カラ多ク原因シテ居リ之ガ對策ハ需給ノ調整ヲ圖ルコトガ根本的デアリ、生産、配給、消費ノ方面等凡ユル角度カラ綜合的ニ對策ヲ講ズルヲ要スルノデアリマス。物資ノ需給調整ト物價問題トハ切離シテ考ヘルコトノ出來ナイ密接ナ關係ガアルノデアリマス。

アジア歴史資料センター

然シ物價對策トシテハ價格自体トシテノ對策モ又肝要デアリマシテ卽チ事變勃發後暴利取締ノ改正ヲ見マシタ。之ハ改正ト言ヒマシテ殆ンド全文改正デ內容カラ言ヘバ新シク制定シタト同樣デアリマス。改正ノ點ハ第一ハ取締ルベキ暴利行爲ノ範圍ヲ廣クシ、第二ニハ取締ノ任ニ當ル行政官廳ニ地方長官ヲ加ヘ、第三ハ物品ノ品目ノ追加第四ニ新ニ報告ヲ徵シ販賣業者ニ販賣價格ノ表示强制ヲ加ヘ、第五ニ罰則ニ嚴重ナ改正ヲ加ヘマシタ。更ニ最近ニ至ツテ改正ヲ致シ、物品ヲ追加シ、凡ユル物品ニ付テ販賣價格ノ表示ヲ强制シ物價抑制ヲ圖リマシタガ、然シ暴利取締ハ暴利ガ標準デアリマスタメ一般物價ニ對シテノ特定ノ暴利取引行爲ヲ取締ルニ過ギナイノデアリマス然シ暴利行爲ハ今日特ニ嚴重ニ取締ヲ要スルノデハアリマスガ然シ單ニ暴利取締デハジリジリト昂騰スル物價ニ對シテハ何等積極的ニ出デルコトハ出來ズ又ハ製造家ヨリ消費者ニ至ル間ニ多クノ商人ガ仲介スル時ニ一人一人ガ暴利ヲ貪ラナイノニ結局消費者ノ手ニ渡リ

マス時ニハ極メテ高クナルコトガアルノデアリマス。故ニ物價ヲ抑ヘルノニハ一ツ一ツノ取引ノ利鞘ヲ抑ヘルト同時ニ夫々ノ商品ニ最高價格ト言フ樣ナモノヲ公定スル對策ニ出ナケレバ効果ヲ擧ゲルコトハ出來ナイノデアリマス。政府ハ當初價格對策トシテモ業者ニ自主的最高價格制ヲ設立サセマシタガ、此ノ標準價格ノ法的意義ニ付疑問モアリ、其ノ違反行爲ノ處罰ハ當初カラ法的疑義ガ差シ挾マレマシタ。果シテ其ノ通リ實際ニ賣買ニアタツテハ其ノ價格ハ一ツモ遵守サレズ、最高價格以上ノ賣買ガ公然ト行ハレ例ヘバ綿ニツイテハ組合セ又ハ抱キ合セヤ、三轉賣買、買戾等ノ方法ガ行ハレルニ至ツタノデアリマス。其處デ政府ハ物價對策ノ具体化ニ付テ去ル四月設置サレタ中央物價委員會ニ於テ鋭意審議ヲ進メ、既ニ綿製品、麻製品、木材、皮革製品工業藥品、ゴム製品等ニツイテ最高標準價格ヲ定メ（但シ中央物價委員會デ發表サレタ標準價格ノミデハ强制力ナク單ニ暴利取締ノ規準トシカナラナイ）之ヲ法的統制ニ高メタ。

アジア歴史資料センター

之等ハ臨時措置法ニ基キ其ノ第二條ノ「配給」ニ關シテ價格統制ニ乘出スニ至ツタノデアリマス。臨時措置法ニ基ク價格對策トシテ最初綿製品、纖維製品、皮革製品ニ付單行省令ヲ出シマシタガ、七月九日「物品販賣價格取締規則」ヲ制定シ廃製品輸入材、ゴム製品以下諸種目ヲ定メ爾後品目ハ商工省ガ指定シ之ヲ告示スルコトヲ以テ足ルコトニシマシタ。物品販賣價格取締規則ノ内容ヲ申シマスレバ商工大臣ガ告示ニヨツテ物品ヲ指定シタ場合ハ其ノ物品ノ値段ハ指定前日ノ價格ヨリ引上ヲ禁ズル。之ハ二十八日ノ改正デ「前日ノ價格」ガ「商工大臣ノ指定スル年月日ノ價格」ト言フコトニ變ヘラレマシタ。第二ハ商工大臣又ハ地方長官ガ告示ニヨツテ中央物價委員會或ハ地方物價委員會ノ答申ヲ考慮シ或ル物品ノ價格ヲ公定シタ場合ハ最高價格トシテ守ラネバナラナイ。

暴利取締ト臨時措置法ニ基ク公定制トノ關係ニ付テ一言シマスニ暴利ガナクトモ最高價格ヲ超ヘタ賣買ハ違反デアリ又最高價格以下デ

31

モ暴利ガアレバ暴利取締令ノ發動ヲ見ルノデアリマス。

次ニ以上ノヤウナ物資ノ配給統制及消費統制ヲ強化致シマスト必然的ニ既存社會機構ハ統制ヲ蒙ラネバナリマセズ、所謂民需生産ノ中小工業者ハ大資本ノ下請ヲスルヨリ外ニハ事業ノ縮小休止廢止ヘ餘儀ナクサレ又夫ニ伴ツテ從業員ノ失業問題ガ惹起ヲ見ルニ至ルノデアリマス。

現下離業失業問題ハカツテノ失業問題ニ對シ次ノヤウナ二ツノ特徴ヲ持ツテキルモノデハナイカト存ゼラレルノデアリマス。即チ第一ハ今次ノ失業問題ハ言ハバ生産、配給、消費統制ニヨリマス平和的生産部門ノ企業ノ離業失業ノ問題デアリマス。從ツテ此ガ解決ハ企業ノ轉換ヲ圖ルコトガ從業員ノ失業救濟ト並ンデ重要課題トナツテ居ルノデアリマス。第二ニハ今日ノ失業問題ハ國家目的遂行ノタメノ餘儀ナイ結果デアリマシテ言ハバ國策ノ犠牲ト言フベキモノデアツテ從ツテ自己ニハ毫モ失業ヲ見ルニ至リマシタニ就テノ責任ハナイノデアリマス。今日離業失業問題ガ社會生活ニ及ボス影響ハ極メテ大ナ

アジア歴史資料センター

綿絲布、皮革、ゴム製品各種制限ニ因ル影響調（七月）

種別		事業廢止 件數	事業廢止 從業員	事業廢止 失業者	事業休止 件數	事業休止 從業員	事業休止 失業者	事業操短 件數	事業操短 從業員	事業操短 失業者
綿製品	三日	七六	三六〇	一八九	三、四七二	二六、三五五	六、六六六	三、四三六	四三、四一三	一、一四七
	十二日	二二八	一、四九一	九九一	三、五三八	三六、六六六	一三、五七〇	四、六五二	六八、七八三	七、四九〇
	廿五日	四二七	二、三三三	一、三九六	四、七二七	三六、五八二	一三、〇二一	七、一八三	一〇八、六四七	一〇、六一三
皮革製品	三日	三六	六九	三九	八二七	二、五二二	四八七	三三九	一、四七六	三〇三
	十二日	二九三	六〇三	五〇六	一、二九〇	四、〇六六	二、五〇七	一、五〇八	三、七〇〇	八六一
	廿五日	二九七	四九五	三七〇	一、六六九	五、九三〇	二、九三五	二、五三五	八、三〇八	一、七九四
ゴム製品	三日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	十二日	四四	三六四	二五一	一一四	二、八四七	一、六四四	三六七	一七、七五二	九、三八四
	廿五日	四三	四九一	三三三	二三七	三、八〇六	一、六一二	六八八	二四、四六八	四、二四四
計	三日	一一二	四二九	二二八	四、二九九	二八、八七七	七、一五三	三、七七五	四三、八八九	一、四五〇
	十二日	五六五	二、四五八	一、七四八	四、四七九	四三、五七九	一七、七二一	六、五二七	九〇、二三五	一七、七三五
	廿五日	七六七	三、三一九	二、〇九九	六、六三三	四六、三一八	一七、五六八	一〇、四〇六	一四一、四二三	一六、六六一

ルモノガアリシカモ夫ガ直接ノ營業ト關係ノ餘リ厚クナイ國策ニヨッテ生ジタモノデアリマスヲ思フトキ非常時ヲ忍ムヤウナコトニナラナイトハ決シテ斷言シ得ナク國民思想延イテ社會治安上聊カモ関心ヲ忽ガセニシ得ナイモノデアリマス。

今統制ニヨリマス事業廢止休止操短狀況ヲ綿糸布、皮革、ゴム製品ニツイテ見マスルニ左ノ如クデアリマス。

アジア歴史資料センター

臨時措置法違反調　七月

種別	月日	検擧件數	検擧人員	悪質ナルモノ 件數	悪質ナルモノ 人員	送局 件數	送局 人員
綿製品	十二日	七六九	九一五	四九	一九二	、	、
	二十五日	二七一一	二六一三	四六六	八八七	三二七	六九二
皮革製品	十二日	一七八	一七八	三	三	、	、
	二十五日	三〇八	二〇一	二九	三四	三五	三六
ゴム製品	十二日	三七	三九	、	、	、	、
	二十五日	二三五	一七九	七	八	七	九
其他	十二日	、	、	、	、	、	、
	二十五日	二三九〇	二四一一	九	一二	一八	四四
計	十二日	九八四	一一三三	五三	一九五	、	、
	二十五日	五六四四	五四〇四	五一一	九四一	三八七	七八一

以下統制主要物資タル綿、皮革、ゴムニツキ夫々現況ヲ見テミマスコトニシマス。

(1) 綿……繊維工業ハ次ノ如キ五ノ特色ヲ有シテヲリマス。第一ニ原料ヲ外國ヨリノ輸入ニ仰ガネバナラズ而モソレガ巨大ナ額ニ上ルノデアリマス。第二ニハ民需品デアルコトデス。輸入額ガ巨大デアリ民需品デアルコトニヨツテ先ヅ輸入制限品目トシテ狙ハレルノデアリマス。第三ニ輸出貿易中首位ヲ占ムル重要輸出品デアリマス。從ツテ之ガ輸出ノ狀態如何ガ輸出全體ヲ大ニ左右シ、延イテ國際收支ニモ著シキ影響ヲ與ヘルノデアリマス。輸出ノ振興ガ重要ナ意義ヲ有ス今日此處ニ非常ナ困難ガ生ズル譯デアリマス。第四ニ故ニ民需向ハ極度ニ制限ヲ加ヘナケレバナラズ綿製品混用規則ヲ廢止シ、國內ニハ一切綿ヲ使用セシメナイノモ此ノ趣旨ニ出ルノデアリマス。第五ニハ工場ガ全國的ニ散在シテヰルコトデアリマス。故ニ生產工場ハ極度ニ制限ヲ加ヘラレマスノデ、其ノ影響ガ全國的デアルワケデアリマス。

之ガ需給調整ノ方針トシマシテハ第一ニ原料ノ輸入ヲ制限抑壓ヲ加フルコト。第二ニ軍需ヲ優先セシメル。第三ニ輸出ノ維持增進ヲ圖ルコトハ國際收支ノ上カラ申シマシテ最モ重要デアリマス。之ニリンク制ヲ採用シテ促進ヲハカツテ居リマス。第四ニ其ガ爲製品ノ内地流入ハ完全ニ阻止シナケレバナラナイ。第五ニ價格配給ヲ圓滑ニシ調整セシメル。

(2) 價格統制。。。。政府ハ先ヅ統制對策トシマシテハ自主的統制ヲトラシメタ。卽チ棉花及綿糸ニツイテハ昭和十二年十一月一日ヨリ綿布ニアツテハジンス及綿三綾ハ昭和十二年十二月一日ヨリ晒木綿ハ二月十七日ヨリ業者ヲシテ自主的ニ最高價格ヲ設定實施セシメタ。カクシテ綿業委員會デ最高標準價格ヲ決定スルコトニヨリ綿業統制ニ乘出シタノデアリマス。併シ自主的統制ハ統制ヲ受ケルコトニヨリ自由ナル營利心ニ束縛ガ加ヘラレル業者ノ間デスカラ本質ハ自主的協定ヲ一歩モ出デズ完全ニ行ハレル譯ハアリマセヌ。

又違反者ニ對スル罰則モ業者ノ申合セ程度ヲ多ク出ナイ所カラ不當利益ヲ取得スルタメ脱法的手段ヲ講ズルモノ少カラズ抱合セ販賣三轉賣買買戻等ノ横行ニヨツテ最高標準制度ハ事實上骨抜トナツテシマツタ。故ニ之ニ法律上ノ強制力ヲ付與スルタメ、綿絲ニ付五月二十日綿絲販賣價格取締規則ヲ織維製品ニ付テ六月二十九日織維製品販賣價格取締規則ヲ設ケ、之ガ違反ヲ禁示シマシタガ後者ハ七月二十八日ニ廢止サレ物品販賣價格取締規則ノ告示ニヨツテ追加サレマシタ。

(3) 消費統制。。。法的統制トシマシテハ綿製品ス、フ等混用規則（昭和十二年十二月二十七日公布二月一日實施）ガ最初デ國内向ニ（軍需特免ヲ除ク）三割以上ノ混用ノ強制ヲ命ジタ、後ニ昭和十三年六月二十九日ニ國内向ハオールスフト晋フコトニナリマシタ爲廢止サレマシタ。

(4) 配給統制。。。。綿絲配給統制規則（昭和十三年三月一日）

アジア歴史資料センター

國內綿絲ノ配給ヲ統制シタモノデ、工業者ハ割當票ト引換ヘズニ綿絲ヲ買受、販賣者ハ引換フコトナシニ販賣スルコトヲ得ナイ。實際ニツイテ見マスニ法規ノ裏ヲ潜ツテ切符無シノ取引ガ行ハレタリ、配給票僞造ガ可成行ハレテキマス。特ニブローカー等ノ介在ガアリ盛ニ暗躍ヲシテキマス。

抑々コノ配給統制規則ノ趣旨ハ工業者ニ又ハ工業者ガ割當票ト引換ヘズニ販賣又ハ買受ヲスルコトヲ得ナイノデ、販賣者間デハ切符無シノ取引ハ違反トナラナイノデアリマス。ブローカーハ單ニ契約ノ締結ヲ周旋ヲ業トスル者デ直接ニ法律上表ハレマセヌガ、若シ綿絲ヲ購入シ販賣スル時ニハ既ニブローカータル性質ヲ失ヒ販賣者トナルワケデアリマス。

更ニ國際收支ノ關係ヨリ物資動員計畫ノ修正ヲ見マスニ至リ、國內向綿製品ハ當分ノ間軍需品生産資材等ヲ除ク外其ノ生産ヲ停止セネバナラヌ實情ニ立至ツタノデ先般來徹底シタ消費節約竝ニ之

ニ對應セル生産及配給統制ノ確立ニ至ル迄差當ノ措置トシテ、

(イ) 綿製品製造制限ニ關スル件（六月二十九日）

…國內向ハオールスフニ、從ツテ混用規則ハ廢止サレル。

(ロ) 綿製品販賣制限ニ關スル件（六月二十九日）

綿製品ノ製造ニ極端ナ制限ヲ課スルタメ、國內ニ對スル綿製品ノ供給ガ極度ニ制限サレテ來ルヤウニナツテ、製造ハ制限サレタガ現在國內ニ在ル純綿、混紡ノ浪費ヲ出來得ル限リ抑制シテ差當リ先ヅ小賣商以外ノ者ノ手持綿製品ヲ確保シ之ヲ最モ有效ナ用途即チ農業用勞働用ニ振向ケル必要ガアルタメ準備ヲ整ヘルコトニシマシタ。制限サレマシタモノハ綿絲綿織物又ハ綿莫大小デアリマス。

(ハ) 綿製品加工制限ニ關スル件（六月二十九日）

買上ノ必要及販賣制限ヲ脫レルヲ防止ノタメ、六月二十九日ヨリ七月二十八日ニ至ル期間加工ヲ制限シマシタ。

アジア歴史資料センター

(ニ) 然ルニ右小賣商以外ノ者ノ綿糸綿織物綿莫大小ノストックノ量ヲ調査シタ所勞働者向農業用以外ノ物相當多ク之等ハ買上ノ必要ナキ爲地方長官ノ許可ヲ受クルコトニヨッテ綿製品ノ販賣制限加工制限ニ關スル件ニヨル制限ニ拘ラズ販賣シ又ハ之ニ加工ヲ爲スコトヲ得セシメマシタ。其ノ許可ニヨッテ（其ノ際印證證紙ヲ押捺貼付）調節ヲ圖ルコトニ致シマシタ。

(ホ) 綿製品加工制限ニ關スル件ノ制限期日ハ七月二十八日迄デシタノデ其ノ後ハ加工ガ自由トナリマス所カラ、七月二十九日勞働用農業用ノ物ハ加工ヲシヤウトシマス時ハ地方長官ノ許可ヲ受クルヤウニ規定シマシタ。

輸出綿製品配給統制ニ關スル件（六月三十日）

ハ輸出綿製品ニツキ個人リンク制ヲ採用シ（規定カラ直接ニハ趣旨ハ出テ來ナイケレドモ爲替許可トノ關聯ニ於テ）又從來內地流入ノ防止ガ業者ノ自主ニ任サレテヰマシタノヲ機構ヲ整備シマスコトニヨリ法律上阻止スルコトニシマシタ。

綿ハ輸出品デアリ戰時經濟上重要ナソシテ統制ノ最モ困難ナモノデ、アリマス。總ジテ今回ノ統制法規ハカッテノ事業ヲ保護助長スル即チ私權擁護ノ建前カラ市民本位的ナ公益ヲ目的トシタ法規デナク、國家本位ノ立場カラ生產配給價格消費ノ統制ヲ圖ラントシタ純然タル國家本位法デアリマス。從ツテ其ノ違反モ脫税其ノ他ノ從來ノ經濟法違反トハ大ニ異ニシ、經濟体制ノ運用ニ障碍ヲ及ボシ戰爭遂行目的ニ著シイ阻害ヲ來ス結果トナルノデアリマス。

アジア歴史資料センター

皮革………

皮革使用制限規則　七月一日

皮革ハ重要ナル軍需資源デアルト共ニ國民ノ日常生活品ニ廣ク使用セラルルニ拘ラズ從來主トシテ輸入ニ依ツテ其ノ需要ヲ充シテ居リマシタガ、此ノ際出來得ル限リ民需用皮革ノ使用ヲ制限シ、軍需ノ充足及輸出ノ振興ニ資スル爲制定シ、民需用ノ靴馬具調帶等ニハ牛革ヲ其ノ他ノ皮革製品ニ付テハ其ノ他ノ革ノ使用ヲ制限シマシタ。（修繕ハ同規則中ノ製造ニ含マナイ）

皮革製品販賣價格取締規則（七月一日）

物品販賣價格取締規則ニ皮革製品ガ告示サレコノ規則ハ廢止サレタ

皮革配給統制規則（七月一日公布、八月一日實施）

輸入制限ト軍需ノ増加ニ因リ皮革ノ需給ハ著シク不均衡トナツタノデ、國産品輸入品ヲ通ジ其ノ配給ヲ統制スルガ爲皮革配給統制規則ヲ制定シ、原皮取扱業者ヲ指定シ其ノ取引系統ヲ規則スルト

アジア歴史資料センター

共ニ皮革ノ販賣價格ヲ公定スルコトトシマシタ。

(イ) 第二條ハ販賣ノ目的ヲ以テ屠殺シタル者ダケニツキ皮ヲ制限

(ロ) 豚ノ皮ノ増産ヲ圖ル爲皮ヲ剝ゲバ取扱業者ニ賣ルヤウニ

ゴム：：：

配給割當制及最高價格設定制ガ我國ニ於テ同時ニ實施サレタノハ先ヅ生ゴムデシタ。之ハ既ニ事變發生以前カラ爲替管理ノ強化ニヨツテ輸入ガ困難トサレテ居マシタガ、事變發生ヲ契機トシテ更ニ輸入制限サレタ爲原料ゴム飢饉ガ訴ヘラレ、國內ノ相場ハ非常ナ昂騰ヲ來シタ。ゴムハ軍需資材トシテ緊要デアリ、商工省ガ他ノ物資ニ先ガケテ十二月以來生ゴムニツイテ先ヅ統制ノ手ヲ染メタノデアリマス。

ゴム配給統制規則

輸入制限ト軍需ノ増加トニ因ツテ著シク需給ノ均衡ヲ失スルニ至ツタノデ、之ヲ調整シテ軍需ノ充足ヲ圖ル爲更ニ強化ヲ要シ配給

統制規則ヲ制定シマシタ。

大体ニ於テ從來ノ自治的統制方法ヲ踏襲シタモノデ、ゴムノ購入ハ商工大臣又ハ統制團体ニ於テ交付スル購入票ト引換ニ特定ノ配給機關ヨリ之ヲ爲サシメテ、且其ノ價格ノ取締ヲ行ヒ、又輸出向ニ付テハ其ノゴムノ必要量ニ相當スル購入票ヲ交付スルト共ニ輸出義務ヲ負ハシメマシタ。

ゴム使用制限ニ關スル件

ゴムノ需給ノ不均衡ヲ是正スル爲ニハ民需ニ對シ消費規正ヲ徹底サス必要ガアルノデ、ゴム靴、草履、玩具、海水浴用具等不要不急用途ニ對スルゴムノ使用ヲ原則トシテ禁止シ、軍ノ註文輸出註文又ハ商工大臣ノ許可ヲ受ケタ場合ニ限リ認メルト共ニ卸商ノゴム靴ノ買上ヲ行フコトトナツタノデアリマス。

ゴム靴販賣制限ニ關スル件

ゴム使用制限規則ニヨリ製造ヲ禁止サレタ處ゴム靴ハ農山漁村民

アジア歴史資料センター

及小學兒童ニ取ツテハ極メテ必要ナノデ現存ノモノノ自由販賣ヲ禁止シ特定ノ配給機關ヲシテ一手ニ買上シメタ後農山漁村民及小學兒童ニ對シ配給ヲ行ハスコトニナリマシタ。

46
アジア歴史資料センター